

病害虫発生予察注意報第 1 号

(平成22年4月14日)

病害虫名 白色疫病

1 発生作物 たまねぎ

2 発生地域 泉州全域

3 発生の状況

大阪府の泉州地域の4月前半の平均発病株率（過去5年間平均）は0.5%に対し、今年4月12日現在の発病株率は以下のとおり。

4カ所で過去5年間平均を大きく超える発病株率で高い値となっており、今後の気象状況によっては発生増加が懸念される。

調査地点	発病株率%
阪南市鳥取中	28.0%
岸和田市阿間河滝町	20.0%

各調査地点2ほ場 1ほ場あたり25株

泉州地域植物防疫協力員からの報告では、6件中4件で発生が報告されている。

4 防除対策

(1) ほ場の状況をよく観察し、適期に防除する。

発生を認めたら、下記の薬剤を散布する。

現在、発生のないほ場でも、予防的に下記の薬剤を散布する。

薬剤により使用時期が違うので、ラベルをよく読んで適期に散布する。

(2) 薬剤を散布する時は、周囲に飛散しないよう注意する。

(3) 以下の薬剤を参考とする。

(予防的に散布する剤)

ジマンダイセン水和剤(400～500 倍 3 日前／5 回)
フェスティバル C 水和剤(600～800 倍 7 日前／3回)

(発生を認められたら散布する剤)

リドミルMZ水和剤 (500～750 倍 7 日前／3回)
ホライズンドライフロアブル (2,500 倍 3 日前／3回)
プロポーズ顆粒水和剤 (1,000 倍 7 日前／3回)

*ジマンダイセン水和剤とリドミルMZ水和剤は、同一成分(マンゼブ)を含むので 合わせて5回以内とする。